

年金審査課 福永 晃司

せんだん通信をご覧の皆さま、初めまして。

昨年の4月から中国四国厚生局年金審査課に配属となりました、福永と申します。

私が所属している年金審査課では、年金記録が間違っていると思われる方からの年金記録の訂正請求を受け、関係法人や行政機関などに対する調査や資料収集及び周辺事情の調査・照会を行い、弁護士、社会保険労務士などの専門家による中国四国地方年金記録訂正審議会の審議結果に基づき、年金記録の訂正（不訂正）決定を行っています。

公的年金は老後等の生活を支える重要なものであり、訂正を求める方の人生に大きく関わることから、責任感を持って業務に従事しています。

まだまだ勉強不足な私ですが、先輩方に助けてもらいながら、毎日楽しく仕事をさせていただいています。

次に、この原稿の執筆依頼をいただき何を書くか悩んでいた頃、更に私の頭を悩ませた出来事について書かせていただきます。

私にはもうすぐ2歳になる息子がいるのですが、保育園から、七夕の願い事を息子の代わりに書いて持ってきてくださいと言われました。（息子はまだ字が書けないため。）

七夕に願い事など何年も書いておらず、子供の頃の純粋な気持ちを忘れてしまった私には、息子の目線で願い事を考えることは難しく、なかなか願い事は決まりませんでした。

提出期限が迫ったある日、短冊を目の前に願い事を考えていると、妻が「まだ書いていなかったの？」と声を掛けてきました。そして、困惑する私を尻目にももの数秒で願い事を短冊に書いてしまいました。（結局、私の案は採用されませんでした。）

こうして息子の願い事は無事、保育園に提出されたのでした。



息子が作った七夕の作品

この出来事から、1人で悩まずに誰かに相談することの大切さを改めて実感しました。

これからは、家庭や業務において「早めに相談しておけばよかった」と後悔することのないように、「報告・連絡・相談」を徹底して行っていきたいと思っています。

最後に、息子（妻がもの見事に書いた願い事）と私の今年の七夕の願い事を紹介させていただきます。

皆さまも、来年の七夕は子供の頃の純粋な気持ちを思いだして願い事をされてはいかがでしょうか。

息子 「ともだちがたくさんできますように」

筆者 「宝くじが当たりますように」

「あと〇kg痩せますように」

「(仕事と家庭において)頼りにされる存在になれるように」